

南アフリカ準備銀行が政策金利を1.00%引き下げ

大和証券投資信託委託株式会社

3月24日(現地)、南アフリカ準備銀行は政策金利を1.00%引き下げて9.50%とすると発表しました。政策金利の引き下げは2008年12月より3回連続となり、引き下げ幅は2.50%となりました。

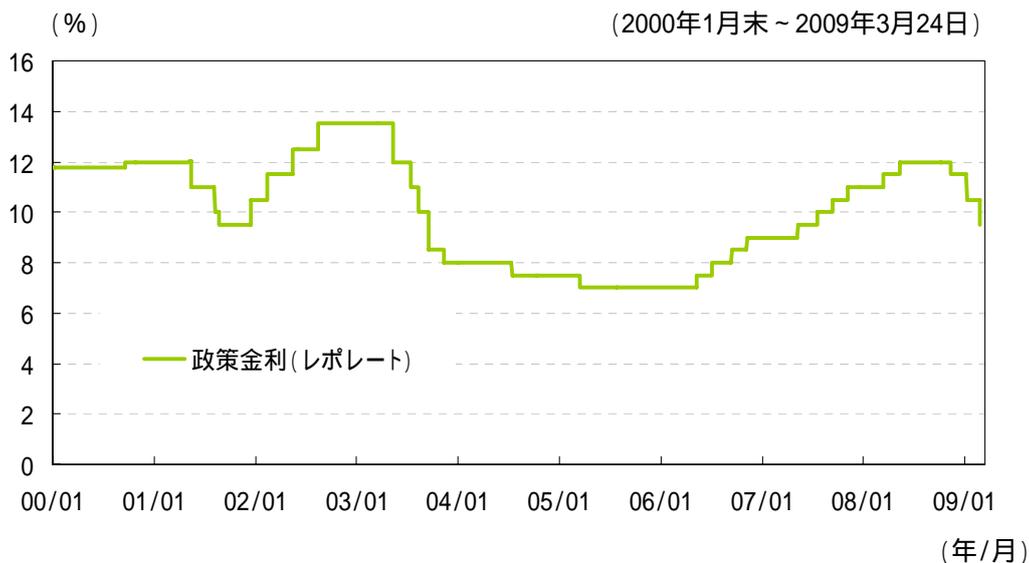
引き下げの理由として南アフリカ準備銀行は国内外の景気減速と中期的なインフレ見通しの改善をあげています。

南アフリカの国内景気は、2008年第4四半期のGDPが前期比年率-1.8%となり世界的な景気後退の影響を受けてマイナス成長入りしました。昨年10月以来前年比マイナスが続く鉱工業生産(前年比)は2009年1月に-11.1%と大幅な減少となりました。昨年5月以来前年比マイナスが続いていた実質小売売上高は、1月こそ前年比1.7%とプラスとなったものの、需要減少から下向き圧力は依然として強い状態が続いています。

一方で、1月のインフレ率(CPI)は、8.1%と昨年12月の8.7%から低下しています。南アフリカ準備銀行は、2009年第3四半期にインフレターゲットの上限である6%を下回ると予測しており、インフレ圧力は後退しています。

3月18日にMPC(政策決定会合)の日程が変更され、当初4月15~16日に予定されていた会合が約3週間前倒しで実施されたこともあり、今回の政策金利の引き下げは市場の予想通りとなりました。次回会合は、4月29~30日に予定されていますが、インフレ圧力が後退する中、国内景気の下支えのため次回会合でも今回同様、政策金利の引き下げを継続することが予想されます。

政策金利の推移



(出所)ブルームバーグのデータより大和投資信託作成

以上

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.20750%（但し、最低 2,625 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 非上場債券（国債、地方債、政府保証債、社債）を当社が相手方となりお買付けいただく場合は、購入対価のみお支払いただきます。債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。こうした銘柄については、外国証券内容説明書をご覧ください。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会、社団法人 金融先物取引業協会